

# 目 次

まえがき	1
「全電線中期基本政策・21世紀の新たな挑戦」 「改訂 全電線中期基本政策」の総括について	(別冊) 3
「退職金」について	5
「組合員意識調査」について	9
あとがき	29
全電線中央執行委員会見解	31

## まえがき

全電線はこれまで、相互信頼・相互理解の精神を基調に「成熟時代にふさわしい質の高いゆとり・豊かさ」が実感できるよう、1999年度に「全電線中期基本政策・21世紀の新たな挑戦」を策定し運動を進めるなか、2005年度には全電線運動の再検証を行い「改訂 全電線中期基本政策」をとりまとめ、今日まで運動を推進し、着実に成果を収めてきました。

こうしたなか、本年度政策委員会では「全電線中期基本政策・21世紀の新たな挑戦」および「改訂 全電線中期基本政策」の総括について、「退職金」について、「組合員意識調査」についての諮問を受けました。

本政策委員会では、これまでの10年間の活動を率直に振り返り、2010年代を目前に控え、運動のさらなる前進を期すべく鋭意検討を重ね、ここに本年度の諮問事項に対する検討結果をまとめましたので、提起いたします。

**【全電線中期基本政策】**  
**【改訂 全電線中期基本政策】**  
の総括

(別冊)

## 【退職金について】

# 退職金の取り組みについて

退職金については「中卒・勤続35年・60歳」の取り組みを進めてきましたが、退職金銘柄に対する課題等もあることから「改訂 全電線中期基本政策」の総括論議に先立ち、2008年度第2回政策委員会において、連合やJC他産別、全電線単組の退職金について実態把握すべく論議・検討を行いました。

## 1. 世間の退職金実態

世間との退職金比較については、銘柄の問題、水準設定層の特定が難しいことなどから画一的な水準比較が非常に難しい状況となっているものの、世間における退職金水準については、勤続42(40)年・標準労働者で概ね1,700～2,100万円程度となっています。

## 2. 全電線の退職金実態

退職金水準については、2009年春闘後の退職金到達水準はAブロック単組の平均で1,602万円、全体平均で1,440万円となっています。また、Aブロック平均とBCブロック平均との差は約200万円となっており、産業内における規模間の格差は大きいといえます。

さらに、近年の到達水準の推移をみると、AブロックとBCブロックの格差については縮小傾向にはあるものの、縮小幅はなだらかになっています。

一方、全電線加盟単組の退職金制度は、大手を中心に総じて退職一時金と年金の併用型となっており、制度設計も含め各社各様で一概に比較ができないのが実態です。

## 3. 取り組み銘柄の課題

退職金の取り組み銘柄については、1981年度から「中卒技能・勤続35年」で取り組んできましたが、今日的な課題としてあげられていたのは、

- ①「中卒・勤続35年・60歳」では実在者が少なく具体的設定が難しいこと。
- ②技能系の場合、高卒の退職者が一般的になりつつあること。
- ③退職金制度そのものが、一時金や年金などそれぞれの役割を担う制度を導入する企業が増加し、年金化についても確定給付や確定拠出、キャッシュバランスなど多様で、一概に比較することが困難であること。

などがあげられます。

## 4. 今後について

退職金については、これまで到達闘争で取り組みを展開してきましたが、到達水準1,600万円に未到達の単組もあることから、引き続き退職金水準の引き上げに向けた取り組みが重要であると考えます。

また、退職金銘柄については各単組の退職者実態に基づいた銘柄で検討し、かつ納得性のある設定となるよう、引き続き世間動向や連合・JC他産別、Aブロック単組の実態などを参考にしながら、次年度も継続して鋭意検討を重ね、今後の取り組みにつなげていくことが望ましいと考えます。

## 【組合員意識調査について】

# 組合員意識調査実施について

## 1. 背景

1999年に全電線では、それまでの運動の総括を踏まえるなかで、以後の運動について、環境の変化を中長期的に洞察し「成熟時代にふさわしい質の高いゆとり・豊かさ」が実感できるよう「全電線中期基本政策・21世紀の新たな挑戦」を策定しました。しかし、とりまく環境の変化によりこれまでの経験や経過に基づいただけの対応が困難になるなど、労働運動についても変革が求められてきたことから2005年に「全電線運動の再検証」を行なってきました。

近年においても経済・社会、産業・企業動向など、とりまく環境の変化が加速している状況にあり、私たち労働組合としても、このような状況に対し変化を的確に把握するなかで、柔軟な対応が求められているものと考えます。

## 2. 目的

2010年代の運動に向けた新たな政策「全電線中期基本政策・2010年代運動の指針と方向（仮称）」を策定していくなかで、とりまく環境の変化を的確に捉え、守るべきものと変えるべきものを冷静に見極め、価値観を改めて整理・検討する必要があります。そのためには、組合員の皆さんが、今何を考え、労働組合に何を求めているのかということをも的確に把握する必要があります。

今後の運動の充実を図るためにも組合員意識調査を行い、2010年代の運動に向けた新たな政策に反映させることによって、組合員の「生活の安心・安定」「ゆとり・豊かさの実現」を成し遂げていかなければなりません。

## 3. 調査内容

調査内容については、前回（2005年）からの組合員意識の変化や他産業との比較、2010年代の運動に向けた新たな政策に反映する観点などから、前回の調査票からとりまく環境の変化に合わせ見直しを図りました。また、社会問題化されている長時間労働の現状と課題について、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを充実させるため、次世代育成支援についてなどを新たに設問項目として取り入れ、労働組合に対する意識としての設問については、2005年との比較が可能となるような見直しを図りました。

## 4. 分析

調査内容の分析については、前回（2005年）の調査検討との比較や他産別との比較可能な点などを考慮するなか課題の整理・分析を行い、2010年代の運動に向けた新たな政策への反映をはじめ、今後の運動に活かしていきます。





**F 6 組合役員経験**

(組合役員経験のある方は現職を優先して下さい。過去に複数の役職を経験した方は、上位の役職をご回答下さい。)

1. 経験なし
2. 現在執行部役員である
3. 現在代議員・職場委員などである
4. 過去執行部役員の経験あり
5. 過去代議員・職場委員の経験あり

**F 7 同一生計を営んでいる世帯構成**

(同一生計とは、日常の生活資金を共にすることをいいます。別居している場合でも、生活費や療養費を送金している場合は、同一生計として取り扱われます。)

1. 独身・独立生計
2. 独身・親や近親者と同居
3. 既婚・夫婦だけ
4. 既婚・夫婦と子ども
5. 既婚・夫婦と子どもと親
6. 既婚・夫婦と親
7. 既婚・死別など
8. その他 ( )

**F 8 (前問で3～6の方に) 配偶者の就業状況**

(2つ以上ある場合は、主なものをひとつ選んで下さい)

1. 配偶者は働いていない
2. フルタイムの正社員(正規職員)
3. パート・内職・アルバイト
4. 派遣社員
5. 自営業(農業・家業など)
6. その他 ( )

**F 9 住居の種類**

1. 持家(ローン返済中)
2. 持家(ローン返済なし)
3. 親、近親者の持家
4. 社宅・独身寮
5. 公営・公社・公団住宅(賃貸)
6. 民間の賃貸住宅・アパート
7. その他 ( )

## [質問項目]

### <生活意識>

Q1 あなたは、日頃の生活について、どのように感じていますか。次のA～Iについて、該当する番号を選んでください。

	満足 (安心)	一応満足 (一応安心)	やや不満 (やや不安)	不満 (不安)
A. 住宅環境	1	2	3	4
B. 自分や家族の健康	1	2	3	4
C. 教育環境	1	2	3	4
D. 余暇生活	1	2	3	4
E. 老後への備え	1	2	3	4
F. 賃金	1	2	3	4
G. 一時金	1	2	3	4
H. 心のゆとり	1	2	3	4
I. 生活全体としての総合評	1	2	3	4

Q2 あなたの世帯の最近の家計収支はどうなっていますか。

1. 貯金や繰り越しをすることができた
2. 収支トントンであった
3. 貯金の切り崩しなどでやりくりした

Q3 年間賃金総額（時間外手当、一時金を含む税込み支給総額）について、A. ここ数年と比べた増減、B. 今後の見通し、についてお答え下さい。

#### A ここ数年と比べた増減

1. 大幅に増えた
2. 少し増えた
3. 変わらなかった
4. 少し減った
5. 大幅に減った
6. わからない・比較できない

#### B 今後の見通し

1. 大幅に増えると思う
2. 少し増えると思う
3. 変わらないと思う
4. 少し減ると思う
5. 大幅に減ると思う
6. わからない

<仕事と職場環境>

Q 4 自分の仕事の将来性についてどのように考えていますか。

- 1. 強い不安感がある
- 2. 多少不安感がある
- 3. あまり不安感はない
- 4. 全く不安感はない

Q 5 (Q 4で1、2を選んだ方へ) 不安はどのような理由によるものですか。主なものを3つ以内で選んで下さい。

- 1. 経営危機で会社が倒産したりするのではないか
- 2. 事業所の統廃合などで今の仕事や職場がなくなってしまうのではないか
- 3. 分社化などで関連会社への出向や転籍になるのではないか
- 4. 職種転換・配置転換等で今までの馴れた仕事が続けられなくなるのではないか
- 5. 仕事が肉体的、精神的に負荷が高くなり、ついていけなくなるのではないか
- 6. 仕事の内容が高度化し、自分の知識や技能ではついていけなくなるのではないか
- 7. 職場の人間関係が悪くなり、いづらくなるのではないか
- 8. 勤務形態や労働時間の変更などで働きにくくなるのではないか
- 9. その他 ( )

Q 6 あなたの職場では、以下にあげた事柄が生じていますか。またあなたご自身はそれらの事柄に対し不安を感じていますか。A～Jのそれぞれについてお答え下さい。

	職場に生じており、不安を感じる	職場に生じているが、不安を感じない	職場に生じていないが、今後不安を感じる	職場に生じていないし、今後不安を感じない
A. 失業	1	2	3	4
B. 転籍	1	2	3	4
C. 希望退職・早期退職制	1	2	3	4
D. 出向	1	2	3	4
E. 転居を伴う転勤	1	2	3	4
F. 職種転換	1	2	3	4
G. 長時間労働による健康障害	1	2	3	4
H. 年間収入の減少	1	2	3	4
I. 成果主義的賃金・処遇制度の導入・拡	1	2	3	4
J. 賃金制度の変更	1	2	3	4

Q7 働き方やライフスタイルについて、(A)と(B)、2つの対照的な考え方があります。あなたの考え方は(A)、(B)のうちどちらに近いですか。(1)～(3)のそれぞれについて、あなたの考えに近い番号を選んでください。

	(A)の意見	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	(B)の意見
(1)	仕事の内容に不満があっても定年まで現在の会社	1	2	3	4	たとえ労働条件が下がっても、やりたい仕事ならば転職してもかまわない
(2)	労働条件に不満があっても定年まで現在の会社	1	2	3	4	希望する労働条件の所があれば転職しても構わない
(3)	やりがいのある仕事であれば長時間労働もいとわない	1	2	3	4	やりがいのある仕事であっても趣味や家族と過ごす時間は確保したい

Q8 あなたは、日常の仕事や職場環境について、どのように感じていますか。次のA～Jの各項目について、あなたの気持ちに近い番号を選んでください。

	満足 (安心)	一応満足 (一応安心)	やや不満 (やや不安)	不満 (不安)
A. 仕事の内容	1	2	3	4
B. 昇進・昇格の速さ	1	2	3	4
C. 仕事の負荷	1	2	3	4
D. 作業環境	1	2	3	4
E. 職場の安全	1	2	3	4
F. 職場の雰囲気や人間関係	1	2	3	4
G. 配転・転勤・出向	1	2	3	4
H. 仕事のやりがい	1	2	3	4
I. 職場環境のゆとり	1	2	3	4
J. 総合評価	1	2	3	4

Q 9 (Q 8 Hで3、4と回答した方に) あなたが仕事にやりがいを感じられない主な理由は次のうちのどれですか。次の中から2つ以内で選んで下さい。

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 仕事が自分に向いていないから    | 6. 仕事に励んでも、生活がよくなるから   |
| 2. 能力や創意が発揮できないから    | 7. 仕事に励んでも、評価につながらないから |
| 3. 仕事に意味や使命感が見出せないから | 8. 職場の人間関係がよくないから      |
| 4. 仕事の負荷に不満があるから     | 9. 仕事の達成感が味わえないから      |
| 5. 昇進の先行き見通しがないから    | 10. 仕事が面白くないから         |

Q 10 あなたは査定・評価の基準が能力成果に移行した人事制度に対して、制度及び運用においてどのような問題があると思いますか。あてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

1. 評価の基準が不明確である
2. 仕事の実績や成果が評価に反映されない
3. 仕事の能力や意欲が評価に反映されない
4. 評価結果が処遇に反映されない
5. 短期的な評価が重視される
6. 評価する人間の評価能力が不十分である
7. 職場や職種により評価基準がバラバラである
8. 評価結果に対する説明や面接が不十分である
9. 苦情相談や異議申し立てがしづらい、またはできない
10. 評価を高めるための教育訓練や能力開発が不十分である
11. 特に問題はない
12. その他 ( )

Q 11 成果主義が主流になってきたことで、あなたの仕事と職業環境にどのような影響が現れると思いますか。あてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

1. 成果を出すために残業や休日出勤が増加する
2. 仕事の目標や範囲が明確になって、残業や休日出勤が減少する
3. 仕事量が増加したり、精神的負担が重くなる
4. 結果の出やすい仕事ばかり選んで、難しい仕事を避けるようになる
5. 新しい仕事や重要な仕事にチャレンジする人が増える
6. 仕事のやりがいや意欲が減少する
7. 仕事のやりがいや意欲が高まる
8. 能力開発に対し自己責任、自己啓発を一層求められるようになる
9. 会社の教育訓練や研修制度が拡大、充実する
10. 自分の仕事ばかり考える人が増加する
11. 職場の人間関係や雰囲気が悪くなる
12. 職場のチームワークを重視する雰囲気が強まる
13. 作業効率や生産性、企業活力が失われる
14. 生産性が上昇したり、新しいアイデアが生まれやすくなる
15. その他 ( )

Q 12 あなたに、賃金・人事処遇制度のあり方についてお伺いします。あなたの考え方は（A）、（B）のうちどちらに近いですか。下記の（1）～（6）のそれぞれについて、あなたの考えに近い番号を選んでください。

	(A) の意見	A の 考 え に 近 い	A の 考 え に 近 い ど ち ら か と い え ば	B の 考 え に 近 い ど ち ら か と い え ば	B の 考 え に 近 い	(B) の意見
(1)	賃金や処遇を決める際、職務遂行能力より成果・実績を重視すべきである	1	2	3	4	成果・実績より職務遂行能力を重視すべきである
(2)	賃金や人事処遇は、能力や成果・実績に応じて格差をもっと拡大すべきである	1	2	3	4	能力や成果・実績に応じた格差を拡大すべきではない
(3)	賃金は、成果や業績によって決めるべきだ	1	2	3	4	賃金は、年功的な要素を重視すべきだ
(4)	家族・住宅手当などは廃止して基本賃金に組み込むべきである	1	2	3	4	家族・住宅手当などはこれまで通り維持すべきだ
(5)	一時金は、成果や業績によって決めるべきだ	1	2	3	4	一時金は、年功的な要素を重視すべきだ
(6)	退職金にも成果や実績をより一層反映させるべきである	1	2	3	4	退職金に成果や実績を反映させるべきではない

Q 13 あなたは次にあげる事柄について不安を感じていますか。あてはまるものすべてをあげてください。

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 出向・転籍             | 7. 交替制導入や勤務形態変更による仕事の変化 |
| 2. 職種転換              | 8. 配偶者の失業               |
| 3. 転居を伴う転勤           | 9. 世帯全体の収入減             |
| 4. 自分の失業             | 10. 住宅ローンの返済            |
| 5. 仕事の高度化による能力、経験の不足 | 11. 持家取得                |
| 6. 職場の人間関係           | 12. 子どもの教育費             |

Q 14 あなたは、今後どのような道に進みたいと思いますか。

1. いろいろな業務を経験して、今の会社の管理者として、会社の運営にたずさわりたい
2. 管理者とはいかずとも、できれば今の会社の職制として仕事を切回したい
3. 自分の専門性や特殊技能を生かして、今の会社で腕をふるいたい
4. 自分の専門性や特殊技能を生かして、そのうち独立したい
5. 管理職や職制とまでいかずとも、定年までこの会社で勤め上げたい
6. とくに希望はなく、成行きにまかせる
7. いいところがあれば、今の会社を変りたい
8. 適当な時期に退職して、家業を継いだり、家庭に入るなどしたい

Q 15 あなたは、あなたの勤めている会社についてどのように考えていますか。

1. 会社発展のため自分の最善をつくしたい
2. 会社が自分に報いてくれる程度に会社につくしたい
3. 会社に対してこれといった感じはもっていない
4. 会社については全く関心がない

Q 16 あなたが会社に対し、改善して欲しい制度・施策は何ですか。次の中より5つ以内であげてください。

1. 退職金・企業年金などの水準
2. 定年退職後の就労の仕組み
3. 融資等持家取得制度
4. 賃貸住宅居住者に対する援助
5. 休暇・休日日数
6. 勤務形態や労働時間
7. 通勤に関する諸制度
8. 転勤に関する諸制度
9. 食堂・更衣室などの施設
10. 職場分煙・禁煙などの喫煙対策
11. 健康診断などの健康維持・増進施策
12. メンタルヘルス対策
13. けがや病気など労災以外の補償
14. 出産・育児に関する援助制度
15. 介護に関する援助制度
16. 業務上必要な出費に対する援助措置
17. 特に改善を希望するものはない
18. その他 ( )

Q 17 あなたにとって「よい会社」とはどのような会社ですか。次の中からあてはまるものを5つ以内で選んで下さい。

- |                          |                                 |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 有給取得推進など労働時間短縮を実現している | 11. 定年まで雇用が保障されている              |
| 2. 魅力的な仕事や職場がある          | 12. 経営情報を従業員に伝えることに熱心           |
| 3. 育児・介護支援が充実している        | 13. 労働組合との関係を大切にしている            |
| 4. 給与水準がよい               | 14. 株主との関係を大切にしている              |
| 5. 福利厚生が充実している           | 15. 企業の利益や資源の社会への還元に関心          |
| 6. 派閥や人脈を気にしないですむ        | 16. 企業の社会的責任（CSR）や環境保護などを重視している |
| 7. 昇進がはやい                | 17. 明確な経営方針、リーダースhipが確立している     |
| 8. 人事・処遇制度の内容がオープンである    | 18. 希望すれば、60歳以降も働ける             |
| 9. 女性の登用が進んでいる           | 19. 従業員のライフスタイルや私生活を尊重している      |
| 10. 人材育成の長期的プログラムを持っている  | 20. 健全な財務体質のもと堅実な経営を堅持している      |

<長時間労働の現状と課題>

Q 18 あなたは、自分自身のここ数年間の時間外や休日出勤を含めた労働時間についてどのように感じていますか。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 非常に長いと思う | 4. やや短いと思う  |
| 2. やや長いと思う  | 5. 非常に短いと思う |
| 3. 適正だと思う   |             |

Q 19 （前問で1、2を選んだ方にお聞きします）労働時間が長くなっている原因はどのようなことが考えられますか。次の中から主なものを3つ以内で選んで下さい。

1. 人手不足だから
2. 生産能力以上の注文を受けているから
3. 時間内は顧客や他部署対応に追われるから
4. 時間外でないとできない仕事があるから
5. 上司から急な仕事の指示があるから
6. 社内ミーティング等の会議が時間外に設定されるから
7. 社内の仕事のやり方や意思決定にムダが多いから
8. 定時になっても帰る雰囲気が職場にないから
9. 今の担当業務は自分でないとできない仕事だから
10. 能力以上のノルマが設定されているから
11. 時間外手当も生活費の一部になっているから
12. その他（ ）



Q 20 長時間労働の解消策として考えられるものは以下のどれだと思いますか。次の中から主なもの3つ以内で選んでください。13、14を選んだ人は他の項目は選ばないで下さい。

1. 業務量に合わせて増員を図る
2. 業務量に見合うよう適正な人員配置を行なう
3. 個々人の能力に応じた仕事配分を考える
4. ノー残業デーや自動消灯などによって時間外を規制する
5. 長時間働いているだけで高い評価をつけないようにする
6. 裁量労働の範囲を拡大し、個々人に労働時間を管理させる
7. IDカードでの労働時間管理を実施する
8. チームでの作業・仕事を増やし、特定個人に仕事が偏らないようにする
9. 個々人が定時になったら仕事をやめて退社する
10. 所定時間外での会議・打ち合わせをしないようにする
11. 会議の効率化をはかる
12. 労使で長時間労働になっている人に対して指導を強化する
13. 解消策があるとは思えない
14. 特に問題はないのでこのままでよい
15. その他 ( )

#### <健康、メンタルヘルス>

Q 21 あなたは仕事上のストレスを感じますか。また、その理由は主として何によるものと思われるか。次の中から主なものを4つ以内で選んでください。

1. 働く時間が長いから
2. 仕事量が多すぎるから
3. 長い時間神経を集中するから
4. 拘束感があるから
5. 能力が発揮できない、努力が報われないから
6. ノルマや評価制度が厳しいから
7. 仕事の配分や待遇に不公平があるから
8. 職場や仕事の将来が不安だから
9. 各種ハラスメント（セクハラ・パワハラなど）があるから
10. 人間関係がよくないから
11. 顧客や取引先との関係が難しいから
12. 孤立を感じたり、相談相手がいないから
13. 作業環境や休憩室等が不十分だから
14. 仕事内容や人員の構成がめまぐるしく変わるから
15. 仕事が自分に合っていないから
16. 仕事と家庭の両立が負担だから
17. ストレスは感じない
18. その他 ( )

Q 22 あなたが希望するメンタルヘルス対策はどのようなものですか。重視する項目を次の中から2つあげて下さい。

1. 管理職の研修を強化する
2. 対面による社内相談窓口を設ける
3. 電話やメールでも可能な社内相談窓口を設ける
4. 部や課単位にメンタルヘルス責任者を選任する
5. 社内の産業医（守秘義務がある）と簡単に面接できるようにする
6. カウンセリングが可能な社外専門機関と契約する
7. その他（ ）

<高齢化に関する問題>

Q 23 あなたは収入を伴う仕事を何歳までしたいとお考えですか。

1. 60 歳
2. 61 歳～62 歳
3. 63 歳～64 歳
4. 65 歳
5. 働ける限り働きたい
6. 特に考えていない

Q 24 60 歳以降も働く場合、あなたはどのような就労条件を重視しますか。次の中から3つ以内で選んで下さい。

1. 賃金水準
2. 技能や経験が活かせること
3. 肉体的・精神的に負荷が少ないこと
4. 責任・権限の維持
5. 責任・権限の軽減
6. 職場の人間関係
7. 定年時の勤務先での就労
8. 同一企業グループ内での就労
9. 労働時間が短いこと
10. 残業や休日出勤がないこと
11. 深夜や変則勤務でない勤務形態
12. 高齢者向けの職場
13. その他（ ）

Q 25 あなたは、自分の定年後の生活を考えた時、何らかの不安・心配を感じることはありませんか。次の中から主なもの3つ以内で選んで下さい。

1. 公的年金の水準
2. 退職金の水準
3. 住宅ローンなど借金
4. 不時に備えての蓄え
5. 自分の適性に合った仕事への再就職
6. 仕事の内容にかかわらず再就職
7. 子どもの就職や結婚
8. 安定した住宅の確保
9. 自分の健康面
10. 家族の健康面
11. 打ちこめる趣味
12. 子どもとの関係
13. 配偶者との関係
14. 生きがいや孤独感など精神面
15. とくに不安を感じることはない
16. その他（ ）

<次世代育成支援、ワークライフバランス、男女平等>

Q 26 次のA～Dの各項目について、該当する番号を選んで記入してください。

	そう 思う	うある 思う 程度 そ	いど えち なら いと も	思あ わま りな いそ う	いそ う 思わ な
A. 家族との関係は良好である	1	2	3	4	5
B. 家事や子どもの世話を積極的に行なっている	1	2	3	4	5
C. 家族との時間は十分に確保できている	1	2	3	4	5
D. 今の仕事と生活のバランスに満足している	1	2	3	4	5

Q 27 今の会社は従業員の仕事と家庭の両立について配慮している会社だと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない
5. どちらでもない

Q 28 あなたに子どもがいる場合、また子どもができた場合に育児休業を取得したいと思いますか。

1. ぜひ取得したいと思う
2. できれば取得したいと思う
3. 取得したいとは思わない
4. 子どもはもう成長したので育児休業は必要ない
5. その他 ( )

Q 29 (前問で1、2の方に)では、実際に取得できると思いますか。

1. 可能だと思う
2. やや難しいと思う
3. 不可能だと思う
4. わからない

Q 30 (前問で2、3の方に)不可能または難しいと思われる理由を3つ以内でお答えください。

1. 業務が忙しく、取得できる余裕がないから
2. 昇進や評価にマイナスに影響するから
3. 職場や仕事の変化に対応できなくなるから
4. 収入が減って、生活が苦しくなるから
5. 職場からの理解が得られないと思うから
6. 配偶者が仕事に就いてなく、取得条件に合わないから
7. 配偶者や家族からの反対があるから
8. その他 ( )

Q 31 女性を取り巻く仕事と職場の問題についてお聞きします。女性の方は自らが職業環境の中で感じる不安、不満を、男性の方は働く女性をみて感じる問題点を、次の中から5つ以内であげて下さい。

1. 男性と比べ賃金・一時金が不公平だ
2. 同期入社と比べ昇進、昇格が不公平だ
3. 残業が多かったり労働時間が不規則だ
4. 研修や教育訓練の機会が少ない
5. 昇進・昇格や能力開発につながる仕事が少ない
6. 仕事上の責任や権限が少ない
7. 仕事はやりがいのない仕事が多い
8. 転勤がある
9. 育児休業を取りにくい
10. 保育環境(施設、時間、運営)などが整備されていない
11. 看護・介護休業制度が取りにくい
12. 出産・育児、介護により昇進・昇格や能力開発が遅れる
13. 仕事に対し男性管理職の理解がない
14. 各種ハラスメント(セクハラ・パワハラなど)がある
15. 女性自身の仕事意識の改革が遅れている

#### <組合意識>

Q 32 あなたは全体として、組合活動についてどのような評価を持っていますか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. なんともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満

Q 33 あなたにとって「よい組合」とはどのような組合ですか。次の中から5つ以内で選んで下さい。

1. 組合員のニーズや職場の声を大切にしている
2. 職種や世代など各階層間の利害の尊重や調整を大切にしている
3. 組合情報を組合員に伝えるのに熱心である
4. 組合員をきちんと掌握している
5. 経営活動をきちんと掌握している
6. 賃金や労働諸条件面での折衝・交渉力が強い
7. 職場の苦情処理に熱心である
8. 組合員個々人の生活相談や生活設計の支援に熱心である
9. 財政運営が健全である
10. 組合費が安い
11. 経営への発言力がある
12. ボランティア活動など社会活動に熱心である
13. 政治への発言力がある
14. 組合員を拘束しない
15. 組合の方針が明確で、リーダーシップが確立している
16. その他 ( )

Q 34 あなたは組合活動への参加についてどのように考えていますか。

1. 積極的に参加したい
2. 要請があればすすんで参加したい
3. 要請があればやむをえず参加する
4. できるだけ参加したくない

Q 35 組合員の組合離れがよく話題になりますが、その原因はなんだと思いますか。次の中から主なものを3つ以内で選んで下さい。

1. 組合の力量が不足していて、頼りがいがないから
2. 建前的な話が多く、ホンネの話を避けているから
3. 職場の意見が反映されていないから
4. 活動がパターン化して新鮮味に乏しいから
5. 組合員自身が企画、実行する活動が少ないから
6. 組合役員と組合員との感覚にズレがあるから
7. 魅力ある組合役員が少ないから
8. 組合が何をしているのかわからないから
9. 職制などが職場の問題を処理しているから
10. 仕事や職場より家族や個人生活を重視する組合員が増えたから
11. 生活がほどほどに豊かになったから
12. 組合活動をやっても何の得にもならないから

Q 36 あなたは、全電線の活動をご存知ですか。知っている項目すべてを選んでください。

1. 雇用の維持・確保についての取り組み
2. 春季生活闘争方針について
3. 単産福祉活動  
(年金共済ハピネス、長期家族サポート制度、職場復帰サポート制度、全労済団体生命共済など)
4. 安全衛生活動
5. 教育宣伝活動 (機関紙「全電線」の発行、闘争時のビラ発行など)
6. 各種調査活動 (時間外労働時間、年次有給休暇取り扱い状況、災害発生状況など)
7. 社会貢献活動 (愛のカンパ、ダルニー奨学金制度)
8. 労働福祉団体との連携強化
9. その他 ( )



自由意見記入のお願い

労働組合に取り組んでほしいこと、または期待する活動として、あなたは今後どのような活動を希望しますか。あなたのご希望を回答用紙の枠の中にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

組合員意識調査 回答用紙

2009年5月  
全日本電線関連産業労働組合連合会

記入上の注意

- ①調査票の各設問に対応する回答欄に該当する番号を記入して下さい。但し、F2(年齢)についてはご自身の年齢を数字で記入して下さい。
- ②記入が済んだら、のりしろを残して二つ折りにし、のり付け後に組合の担当者へ渡して下さい。
- ③選択肢の「その他」に回答の方は、その内容を具体的に記入下さい。

〔基本項目〕

F1	F2	F3 <small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>	F4	F5	F6	F7 <small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>	F8 <small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>	F9 <small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>
1	2-3	4	5	6	7	8	9	10

〔質問項目〕

Q1										Q2		Q3		Q4		Q5 <small>(3つ以内選択)</small>		<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																												
A	B	C	D	E	F	G	H	I	A	B	A	B	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J																								
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53				
Q6										Q7			Q8						Q9 <small>(2つ以内選択)</small>																											
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	(1)	(2)	(3)	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J																								
54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
Q10 <small>(3つ以内選択)</small>										Q11 <small>(3つ以内選択)</small>						Q12 <small>(1) (2) (3) (4) (5) (6)</small>																														
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																														
Q13 <small>(あてはまるものをすべて選択)</small>										Q14		Q15		Q16 <small>(5つ以内選択)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																										
Q17 <small>(5つ以内選択)</small>										Q18		Q19 <small>(3つ以内選択)</small>						Q20 <small>(3つ以内選択)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																						
Q21 <small>(4つ以内選択)</small>										Q22 <small>(2つ以内選択)</small>						Q23																														
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																														
Q24 <small>(3つ以内選択)</small>										Q25 <small>(3つ以内選択)</small>						Q26 <small>A B C D</small>						Q27																								
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																														
Q28 <small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										Q29		Q30 <small>(3つ以内選択)</small>						Q31 <small>(5つ以内選択)</small>						Q32																						
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>		<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																						
Q33 <small>(5つ以内選択)</small>										Q34						Q35 <small>(3つ以内選択)</small>																														
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																														
Q36 <small>(あてはまるものをすべて選択)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																																				
Q37 (A) 所属組合 <small>(5つ以内選択)</small>										Q37 (B) 全電線 <small>(5つ以内選択)</small>						Q38																														
<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>										<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>						<small>(「その他」回答の場合は具体的に)</small>																														

〔自由意見記入欄〕 労働組合に取り組んでほしいこと、または期待する活動について、あなたのご希望を記入して下さい。

ご協力ありがとうございました。



## 全電線中央執行委員会見解

2008 年度政策委員会におかれましては、中央執行委員会が諮問いたしました各項目について精力的に検討をいただき、ここに答申されましたことに対し、心から敬意を表する次第であります。

中央執行委員会は、答申内容について慎重に検討した結果、本答申を十分に尊重するなかで、今後は以下の考え方で取り組んでいくこととします。

- (1) 「全電線中期基本政策・21 世紀の新たな挑戦」および「改訂 全電線中期基本政策」の総括については、答申内容を踏まえ 2010 年代の運動に向けた新たな政策「全電線中期基本政策・2010 年代運動の指針と方向（仮称）」を策定すべく、取り組みを進めていくこととします。
- (2) 「退職金」については、引き続き検討を進め、新たな政策のなかに反映させていくこととします。
- (3) 「組合員意識調査」については、今後分析を行い、その結果を今後の運動に反映していくとともに、2010 年代の運動に向けた新たな政策策定の参考にしていくこととします。

以上

## あとがき

以上、本年度政策委員会では各諮問事項について精力的に検討を加え、前述のような結論に達しました。

「全電線中期基本政策・21世紀の新たな挑戦」および「改訂 全電線中期基本政策」については、2000年以降の運動について、取り組み項目ごとに評価と課題を明らかにすべく論議を進め、総括としてとりまとめを行いました。

「退職金」については、現状の分析と検討を進めてきましたが、次年度も継続して論議・検討を重ねていくこととします。

「組合員意識調査」については、調査結果の分析を含め引き続き鋭意検討を重ね、次年度検討項目である2010年代の運動に向けた新たな政策「全電線中期基本政策・2010年代運動の指針と方向（仮称）」策定に反映させるなど、今後の運動に活かしていきます。

これらの検討課題が60余年の歴史と伝統を持つ全電線運動のさらなる前進に向けての糧となることを強く期待します。

最後に、本検討結果に対するご理解と各単組の積極的な取り組みをお願いし、あとがきといたします。